

OPERATING MODEL・2026

4つの画面で、 迷わず500 → Top 100。

左メニューを01から順に進み、国内・海外の株式、ファンド、ベンチャー等から、ネイチャーポジティブの観点で追加調査すべき投資先候補を絞り込みます。モバイルでは上部の横メニューに変わります。

重要：掲載は、ネイチャーポジティブ成果の認定ではありません。Top 100は期待収益順位・買い推奨ではなく、自然関連Stage-1 DDの着手優先度です。

国内・約500件

上場株式370、ファンド・上場ピークル40、ベンチャー90を基準母集団として構成。

海外・約500件

株式・ファンド・ベンチャーに加え、債券・実物資産・移行／エンゲージメント候補も含む。

このガイドで分かること

01 はじめる → 02 Top 100 → 03 案件・配分 → 04 使い方・資料

更新は国内・海外で独立しています。定期更新はせず、誰かが更新ボタンを押すと、保存された最新版が全利用者へ共有されます。

01・画面の歩き方

左メニューを01から順に進める

1	はじめる 国内／海外を選び、共有の最終更新日時を確認。投資額、期間、重視軸を設定します。
2	Top 100 『条件を開く』で約500件を絞り、20件ずつ比較。候補名をクリックすると詳細が前面に開き、総合点、主な加点要因、リスク減点、補正、根拠と未知を確認できます。
3	案件・配分 候補を明示的に案件へ追加すると、この画面へ移動。候補一覧と配分を確認します。プレビューだけでは追加されません。
4	使い方・資料 PDF・CSV、方法論、参照元、監査ログを確認。長い説明は折りたたまれています。更新は共有され、定期実行されません。

画面を短くする仕組み

左メニュー デスクトップでは常に表示し、現在地と次に進む画面を示します。	折りたたみ 絞り込み条件、方法論、参照元、監査ログは必要なときだけ開きます。	20件ずつ Top 100は順位を保ったまま20件ずつ表示し、表の長さを抑えます。
--	--	---

02・TOP 100の読み方

条件を開く → 20件ずつ比較 → 1件を詳しく読む

候補母集団には、自然への便益が期待される解決策だけでなく、自然への依存・影響が大きく、移行・対話の重要性が高い企業も含まれます。後者を『すでにポジティブ』と扱わないことが重要です。

自然機会 生態系回復、圧力削減、資源循環、水、食・農業、森林、海洋等との関連性。	投資家貢献 資本、対話、条件、コベナンツ、技術支援が通常シナリオを超えるか。	根拠とリスク 一次情報、場所、ベースライン、反実仮想、リーケージ、永続性、論争、移行計画。
--	--	---

主要フィルター

資産 / Asset	株式、ファンド・実物資産、ベンチャー、債券、プロジェクト等
自然テーマ / Nature	生物多様性、循環、水、食・農、森林、海洋、土地利用、移行等
実行性 / Access	取引所、販売会社、私募・直接、主幹事、スポンサー等。表示は現在の取得可能性を保証しません。
証拠 / Evidence	公開根拠の成熟度。成果の良さや期待収益の格付けではありません。

読み方の原則

順位が高いほど『今の条件で、次に自然関連DDを深める理由が多い』ことを示します。ページ送りは表示する20件を変えるだけで、1～100位の順位は変わりません。資産クラス間のリスク、リターン、期間、成果単位を同一視するものではありません。

03・04・案件・配分／使い方・資料

Top 100を投資判断へ飛ばさない

✓	候補がネイチャーポジティブ成果をすでに達成した、と表現していない
✓	一次情報の発行日、対象範囲、場所、方法論を確認した
✓	自然への依存・影響と、リスク・機会の財務経路を確認した
✓	ベースライン、反実仮想、リーケージ、永続性、追加性を確認した
✓	投資経路、最低投資額、受入余力、募集、適格性を取引前に再確認した
✓	価格、条件、制裁、不祥事、出口、モニタリング、救済条件を更新した

候補母集団の主な参照元

国内 / Japan	JPX 上場銘柄一覧（株式・ETF・REIT等） METI J-Startup（ベンチャー）
海外 / Global	Forest 500、既存の公式発行体・運用会社・取引資料。高インパクト企業は移行／エンゲージメント候補として扱います。

本サイトと本ガイドは公開情報に基づく調査支援です。投資・法務・税務・会計上の助言、募集、適合性判断、成果認証ではありません。